飯田橋文学会







公開収録(対面・オンラインハイブリッド開催)

2023年3月23日 3

東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE East 2階 K211教室 会場アクセスマップ https://onl.la/sqZVuyz

18:00-20:00



会場定員50名

※会場でのご視聴に際し、マスクの着用等、感染症対策へのご協力をお願い致します。また、イベント当日に発熱などの症状がある場合は、オンラインでのご視聴に切り替えていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

オンライン(Zoomウェビナー) 定員100名

【東大·飯田橋文学会関係者先行申込受付】

(対面・オンライン) 2月23日 - 2月28日

【一般申込受付】

(対面) 3月1日-3月20日(オンライン) 3月1日-開催日 当日

(いずれも定員に達し次第締切)

聞き手】

澤

直

哉

ロシア文学研究

文学インタヴュー第7回

力

by

飯

田

橋文学会

詩人

※本イベントは、現代作家アーカイヴ構築のためのインタヴュー収録を公開で行うものです。当日の模様は撮影され、映像はインターネット等で公開される予定です。映像に関する権利はすべて飯田橋文学会に帰属し、個人の映像の削除等のご依頼にはお答えできません。また、当日の質疑応答の時間は限られているため、質問の数を制限させていただく可能性がございます。以上ご了承のうえ、参加をお申し込みください。

申込ホームページ

http://iibungaku.com/news/27.php



平出 隆自選の代表作

『胡桃の戦意のために』 (1982)

『葉書でドナルド·エヴァンズに』 (2001)

> 『猫の客』 (2001)

※収録当日は、これらの作品を軸に作家が語ります ぜひ、ご一読のうえでのご参加をお薦めします ※『胡桃の戦意のために』は絶版ですが、日本語と英語の対訳版 For the Fighting Spirit of the Walnut, New Directions, 2008 が入手可能です



Photo by Tomoki Imai, Kawamura Memorial DIC Museum of Art

飯田橋文学会〈現代作家アーカイヴ〉とは? 平野啓一郎(作家・飯田橋文学会)

本プロジェクトでは、現在活躍中の作家を毎回一人ゲストに招き、自らの代表作を選んでもらった上で、 創作活動の全般について、インタヴューを通じて語ってもらいます。

読者にとっては、作家の何をまず読む/観るべきか、また作品相互をどう関連づけるべきかを知る、格好のヒントとなるでしょう。 インタヴューは、公開収録によって映像化され、原則的にすべてネット上に公開されます。

国内外の多くの文学ファンにとって、貴重なアーカイヴとなることを期待しています。

お問合せ: takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp (武田将明)